

金融市場パネル
40回記念コンファレンス

渡部敏明

一橋大学経済研究所

2017年1月11日

インフレ期待形成の特徴

Stylized facts

- ▶ 粘着性
- ▶ 多様性
- ▶ Nakazono, Y. (2016), "Inflation Expectations and Monetary Policy under Disagreements," Bank of Japan Working Paper Series, No.16-E-1.

インフレ期待形成の特徴

理論

1. Sticky information

- ▶ Mankiw, N. G. and Reis, R. (2002), “Sticky Information versus Sticky Prices: A Proposal to Replace the New Keynesian Phillips Curve,” *Quarterly Journal of Economics*, 117, pp.1295–1328.
- ▶ Carroll, C. D. (2003), “Macroeconomic Expectations of Households and Professional Forecasters,” *Quarterly Journal of Economics*, 118, pp.269–298.

2. Noisy information

- ▶ Coibion, O. and Gorodnichenko, Y. (2015), “Information Rigidity and the Expectations Formation Process: A Simple Framework and New Facts,” *American Economic Review*, 105, pp.2644–2678.

インフレ期待形成の特徴

- ▶ 自らが経験した過去のインフレ率に強く依存
- ▶ Malmendier, U. and Nagel, S. (2016), “Learning from Inflation Experiences,” *Quarterly Journal of Economics*, 13, pp.53–87.
- ▶ 西口周作・中島上智・今久保圭 (2014) 「家計のインフレ予想の多様性とその変化」『日銀レビュー』No.2014-J-1.

インフレ期待は経済政策によって変えられないのか (1)

- ▶ Abe, N. and Ueno, Y. (2016), “The Mechanism of Inflation Expectation Formation among Consumers,” RCESR Discussion Paper Series, No. DP16-1, The Research Center for Economic and Social Risks, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University.
- ▶ 上野有子 (2015) 「消費者のインフレ期待はどのような情報から影響を受けるのか-実験を通じた検証」一橋大学経済研究所 経済社会リスク研究機構 Newsletter No.4.

インフレ期待は経済政策によって変えられないのか (1)

- ▶ 2015年1月末に、民間調査会社インテージにモニター登録された20～69歳の消費者2万人強を対象に以下の質問を行う。
 - (1) 「1年後の物価水準(税込み)は、今と比べて何%ぐらい変化していると思えますか?」
 - (2) 「今月半ばに公表された政府の見通しによると、来年度物価上昇率は+1.4%と見込まれています。」と言ってから、同じ質問を行う。
- ▶ (2)の回答は(1)の回答と+1.4%の間の値に修正される。

インフレ期待は経済政策によって変えられないのか (2)

- ▶ Ueda, K. (2010), "Determinants of households' inflation expectations in Japan and the United States," *Journal of the Japanese and International Economies*, 24, pp.503–518.
- ▶ インフレ期待
 - ▶ 日本: 内閣府の消費動向調査から計算
 - ▶ 米国: ミシガン・サーベイ
- ▶ 分析期間
 - ▶ 日本: 1975Q1–2007Q4
 - ▶ 米国: 1970Q1–2007Q4
- ▶ VAR モデルによる分析
- ▶ インフレ期待は実際のインフレ率よりも早く金融政策に反応

インフレ期待は経済政策によって変えられないのか (3)

- ▶ 開発壮平・中島上智 (2015) 「トレンドインフレ率は変化したか?—レジームスイッチング・モデルを用いた実証分析」日本銀行ワーキングペーパーシリーズ No.15-J-3.

- ▶ QQE によって日本のトレンドインフレ率は上昇

インフレ期待を上昇させるためには

- ▶ 金融政策だけでは無理
- ▶ 財政政策 (FTPL)
- ▶ 成長戦略

Christopher Sims 教授のセミナー

1. 一橋大学

日時: 1月31日(火) 15:00-16:30 (開場:14:30)

論題: Feedbacks: Financial Markets and Economic Activity

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/schedule/2017/01/9seminar-series-for-jsp- strategic-international-networking-program-no9-presentation-in-english.html>

2. 日本経済研究センター

日時: 2月1日(水) 9:30-11:30 (開場:9:00)

テーマ: 物価は何で決まるのか (基調講演とパネル討論)

<http://www.jcer.or.jp/seminar/tokyo/index.html>

- * どちらも参加無料ですが、事前に参加申し込みが必要です。